

## 『日本学校教育学会年報』論文投稿要項

1. 論文は、本学会の研究推進委員会、実践研究委員会、国際交流委員会、研究大会における課題研究・公開シンポジウムにおいて発表した内容に基づくもの、又はそれを基礎として展開させたものであること。
2. 論文原稿は未発表のものに限る。ただし、口頭発表及びその配布資料はこの限りではない。なお、同一著者による複数論文の同時投稿は認めない。
3. 本誌の論文の原稿頁数はA4判1頁を40字×35行として、11頁以内とする（図表・注・引用文献を含む）。ただし、編集委員会が特に指定したものについては、この限りではない。
4. 原稿は横書きを原則とし、完成原稿とする。
5. 原稿には氏名や所属を一切記載しない。また、「拙稿」や「拙著」など、投稿者名が判明するような表現も避ける。
6. 原稿の1頁1行目から論文題目（及び副題）、1行空けて本文を書き始める。
7. 論文には、キーワード（5語以内）を論文の本文末に記載する。
8. 原稿とは別に、次の事項を記載した用紙を同封する。
  - ①氏名、②所属、③論文題目、④英文題目、⑤住所、⑥電話番号、⑦電子メールアドレス
9. 論文等の投稿については、2月20日までに原稿を提出する。原稿送付先は、「日本学校教育学会年報」編集委員会宛とする。投稿は、電子メールとする。
10. 投稿論文は、日本学校教育学会年報編集委員会の審査を経て掲載を決定する。なお、査読者とは別に研究に関する相談役をつける場合がある。
11. 掲載が決定した論文の執筆者校正は原則1回とする。執筆者は誤植等の修正の他は校正時に加筆・修正をしないことを原則とする。
12. 注および引用文献は、次のいずれかの方法を用いて、論文末に一括して掲げる。

方式①：注と引用文献はともに注記として示す。注記は、文中の該当部（1）、（2）…と表記し、論文末に一括して記載する。なお、文献の記載方法は次の様式を準用する。

[論文の場合] 著者、論文名、雑誌名、巻号、年、頁。

[単行本の場合] 著者、書名、発行所、年、頁。

方式②：注記は、文中の該当部に（1）、（2）…と表記し、論文末に一括して記載する。また、引用文献は、文中に「…である（有田 1995, 15頁）。ところが、新井（2003, 25頁）によれば、…」などのように示し、アルファベット順に並べた引用文献のリストを、注の後ろにまとめて記載する。なお、引用文献の記載方法は次の様式を準用する。

[論文の場合] 著者、年、論文名、雑誌名、巻号、頁。

[単行本の場合] 著者、年、書名、発行所、頁。
13. 本年報掲載の論文等は、日本学校教育学会著作権ポリシーに従い、著作権は学会に帰

属する。また、J-STAGE 等論文情報提供サイトへの掲載については、学会の判断のもとに行うものとする。

附則：この要項は、2018年8月5日から施行する。

この要項の改正は、2020年5月8日から施行する。

この要項の改正は、2022年12月16日から施行する。